

経営協議会（学外委員）からの意見等に対する対応状況

【学外委員からの意見】（H25.3.18 平成24年度第5回経営協議会）

岡山大学病院の運営に関して、県内の病院等との連携など効率的な策を講じれば、もっと経営状況は良くなるのではないかとの意見があった。

【対応等】

岡山大学病院では、既に存在する県内病院等との診療ネットワークである、肺癌診療ネットワークや乳癌診療ネットワークなどの疾患別診療ネットワークを一新し、新たに中国四国地方の基幹病院（200床以上の病院83施設・33,000ベッド）からなる「中央西日本臨床研究コンソーシアム」を立ち上げた。また、平成25年4月19日付けで、厚生労働省の臨床研究中核病院整備事業<sup>※</sup>に選定され、ネットワークの中核病院として、更なる連携機能の強化を図っている。

また、当該コンソーシアムを利用した臨床研究の効率化及び推進を行うことにより、人材育成も含めた臨床試験実施基盤の強化を目指している。

※日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に、国際水準の臨床研究、難病等の医師主導治療及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」を整備する事業

【学外委員からの意見】（H25.1.23 平成24年度第4回経営協議会）

岡山大学地域総合研究センターの活動に関連して、活動報告会を年に複数回行えば、大学と地域との連携について、より周知できるのではないかとの意見があった。

【対応等】

当該センターのアウトリーチ活動として、国際学都シンポジウム、三都市シンポジウム（金沢・熊本・岡山）、平成24年度成果報告会、公開学都シンポジウムを行ったほか、市内に設立した「まちなかキャンパス城下ステーション」を拠点に、地域での実践活動や講演会などのイベントを多数実施した。これらの活動を継続的に行っていくことにより、地域との連携を強めていくこととしている。